

1 サッカリン

2 純度試験(1)及び(5)の項を次のように改める。

3 純度試験

4 (1) 溶状 本品5.0 gを酢酸ナトリウム三水和物溶液(1→5)
5 25 mLに溶かすとき、この液の澄明性は水又は酢酸ナトリウ
6 ム三水和物溶液(1→5)と同じか、又はその濁りの度合は濁り
7 の比較液 I 以下である。また、その色は水と同じか、酢酸ナ
8 トリウム三水和物溶液(1→5)より濃くないか、又は次の比較
9 液より濃くない。

10 比較液：塩化コバルト(Ⅱ)の色の比較原液3.0 mL、塩化鉄
11 (Ⅲ)の色の比較原液3.0 mL及び硫酸銅(Ⅱ)の色の比較原
12 液2.4 mLをとり、薄めた希塩酸(1→10)を加えて1000
13 mLとする。

14 (5) 硫酸呈色物 本品0.20 gをネスラー管にとり、硫酸5
15 mLを加えて振り混ぜて溶かし、48～50 °Cで10分間放置し
16 た後、液を白色の背景を用い、ネスラー管に入れた色の比較
17 液Aと側方から観察して比較するとき、液の色は色の比較液
18 Aより濃くない。